



会社名 武田薬品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 長谷川閑史
(コード番号 4502 東証第1部)
報道関係問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部
Tel 03-3278-2037

News Release

2013 年 6 月 18 日

2 型糖尿病治療剤 NESINA(アログリプチン)、KAZANO(アログリプチンとメトホルミン塩酸塩の合剤)、 OSEN(アログリプチンとピオグリタゾン塩酸塩の合剤)の米国における販売開始について

当社と当社の100%子会社である武田ファーマシューティカルズUSA Inc.(以下「TPUSA 社」)は、このたび、2 型糖尿病治療剤 NESINA[®](一般名:アログリプチン、開発コード:SYR-322)、KAZANO(アログリプチンとメトホルミン塩酸塩の合剤)、OSEN[®](アログリプチンとピオグリタゾン塩酸塩の合剤)について、米国での販売を開始しましたのでお知らせします。本3剤は、米国食品医薬品局(FDA)から、食事療法・運動療法で効果不十分な成人2 型糖尿病の治療薬として販売許可を取得しています。

NESINA は、選択的ジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害薬であり、血糖調節において重要な役割を担うインクレチンホルモンであるグルカゴン様ペプチド-1(GLP-1)とグルコース依存性インスリン分泌刺激ポリペプチド(GIP)の不活化を遅延させる2 型糖尿病治療剤です。KAZANO は、2 型糖尿病の治療において広く使用されているメトホルミン塩酸塩とNESINA の合剤です。OSEN は、チアゾリジン系の2 型糖尿病治療薬であるピオグリタゾン塩酸塩とNESINA の合剤で、DPP-4 阻害薬とチアゾリジン系薬剤の合剤としては米国で初めて発売される製品です。

TPUSA 社の糖尿病・肥満領域マーケティング senior director である Jennifer Greeby は、「糖尿病の治療は複雑さを増しており、患者さん個々の状態に応じたきめ細かな治療法が必要とされています。NESINA・OSEN・KAZANO の発売は、医療関係者の皆さんに新しい治療オプションを提供するとともに、2 型糖尿病患者さんの健康に貢献し続けるための重要なステップであると考えます」と述べています。

当社が実施した NESINA に関するプラセボ対照および実薬対照の大規模臨床試験プログラムには、13,000 人以上の患者さんが参加しており、現在実施中の NESINA・OSEN・KAZANO の臨床試験についても鋭意取り組んでいます。当社は、本3剤に関する新規データを6月21日から25日まで米国イリノイ州シカゴで開催される米国糖尿病学会(American Diabetes Association : ADA)において発表する予定です。

なお、本3剤の米国における販売開始は、当社の2014年3月期の連結業績予想に織り込み済みです。

※ NESINA および OSEN は、日本において、各々2010年4月および2011年7月に厚生労働省から承認されており、「ネシーナ[®]錠」および「リオベル[®]配合錠」として販売しています。

以上